

食と農と暮らしと。あなたをリードするアクティブ・マガジン

かながわ西湘

2025
4
vol.223



農業の楽園を目指して

和田 一良さん
山北/山北町皆瀬川

養鶏3a、水稲1ha、
露地野菜1ha、ウメ10a

「昔から鳥は好きだったから」と微笑む和田さん。春の息吹を感じる皆瀬川の「くだけた農業」では2棟の鶏舎で約500羽のニワトリが元気に鳴いています。毎朝300個ほどが産卵され、「お山のたまご」としてインターネットのほか、「朝ドレファ」の「♪」や近隣の直売所で販売されています。

大学卒業後、家業を手伝っていましたが18年前、29歳のときに就農。当初、「飼料の配合が難しく納得する卵がでず、試行錯誤の毎日だった」と和田さん。今ではくず米や米ヌカ、魚のアラ、おからなどを仕入れ、独自で発酵させたものを気候やニワトリの状態に合わせて与えることで味の良い卵が完成しました。

人里離れているので「アナグマに全滅させられたこともあった。ここで農業を続けるには自分で捕獲しなければ」となれど、免許を取って猟友会に所属して捕獲を行っています。

和田さんは山の自然を生かした農業体験イベントも開催。これからは栽培技術をもつと学ぶのはもちろん、この場所にとくさんの方が来て楽しめる「農業の楽園」を作りたいと目を輝かせていました。

組合員
セミナー

地域とJAを結ぶリーダーに

〜組合員12人に修了証を交付〜

JAでは次世代の組合員リーダー養成を目的に「組合員セミナー」を計3回開催しました。最終回では、協同組合の役割や地域で困っている課題解決方法などについてグループに分かれてディスカッションを行いました。

JAは2月22日に、本店で第3回「組合員セミナー」及び閉講式を開きました。今年度は組合員27人が受講。閉講式では全講座に参加した12人に天野信一組合長より「セミナーで学んだことを自身の地域活動の中で生かしてください」と、修了証が手渡されました。

今年度のセミナーでは、協同組合の役割や他JAの取り組みを学ぶために「JAいるま野」の水稲やお茶栽培について視察を行いました。最終回となる第3回では、午前中は(株)野生鳥獣対策連携センターの阿部豪



天野組合長から修了証を受け取る参加者



箱わなのトリガー方法を学ぶ

専務取締役を講師に招き「有害鳥獣の生態と効果的な捕獲方法について学びました。講師は「被害対策の基本は2つ、防護柵の設置と捕獲をすること」と話し、効果的な防除と捕獲方法についてスライドで説明したあと、実際に箱わなを使って確実な捕獲方法を指導しました。

午後はグループに分かれてディスカッションを実施。地域で困っている課題を考え解決策について協議し合い、代表者が発表を行いました。参加者からは「野生鳥獣防除も地域解決策も地域一丸となって行うことが効果的とわかった」「自分の地域でも課題解決に向けて話し合ってみよう」と今後の意欲を語りました。
※この活動はJA共済の支援を受けています。

せん定チッパーの正しい
操作で事故防止を

農業機械利用事業で貸し出しているせん定チッパーの取扱動画をこのほど制作しました。スマートフォンからいつでも確認できるように、JA公式チャンネルYouTubeで公開しています。視聴することで、機械に不具合が生じても速やかに確認ができ、正しい操作法が理解できるため事故防止につながります。

同事業は現在13種類の農業用機械を組合員に貸し出しています。事業を利用するには事前に全機種の基本操作（バックホーを除く）や安全作業を講習会で学んでもらいますが、機種の入替等により「操作方法や対処がわからない」などの問い合わせがあります。

この動画は当JAのホームページと公式チャンネルYouTubeで24時間確認できます。なお、基本操作のほか、枝が詰まったときの対処方法や掃除の仕方なども解説しています。

JAでは今後主要機種 of 動画制作を行っていく計画です。



せん定チッパー
動画QRコード

理事会だより

〜主な議題〜

令和7年2月27日

◆令和7年度支部長・総代合同研修会の開催について

協同活動への意識高揚と組合員及び地域リーダーとしての役割発揮に理解と協力を得ることを目的に、令和7年5月17日（土）13時30分より、小田原・三の丸ホールで支部長・総代合同研修会を開催することが報告されました。研修では、食料・農業・農村ジャーナリストを講師に招き「いまこそJAに結集しよう!」をテーマとした講演を予定しています。

◆第7次3か年計画及び令和7年度事業計画【文言編】（第2案）について

昨年末から協議を進めている第7次3か年計画及び令和7年度事業計画の文言編について、理事で構成する専門部会の検討結果を踏まえ協議した結果、承認されました。これに基づき、総代会資料に記載する3か年計画書・事業計画書が作成されます。

◆農地災害復旧事業補助金交付について

令和6年8月末及び11月上旬の豪雨によって被害を受けた管内農地の復旧事業について、当組合が設定した補助金交付要綱に定める基準により申請者へ交付することを協議した結果、承認されました。被災状況は農地の畑土流出や土砂流入、石垣・石積・法面崩壊など。申請件数は全体で37件のうち、今回は22件190万6千円を3月10日に交付する予定です。

◆次期役員候補者について

役員推薦会議で協議し決定された次期理事候補者32名（区域25名、区域以外7名）と監事候補者7名を記した役員推薦書が提示され、承認されました。

野菜の栽培ポイント

●キュウリ

有機質に富む中性の土壌を好み、暑さ（乾燥）と寒さに弱いのが特徴です。

畑の準備……苦土石灰（10kg/a）、堆肥（100kg/a）を定植の1か月前までに投入し、中耕をしておきましょう。

元 肥……	ジシアン有機化成 S 806号	15kg	定植前(10日)
	ようりん	4kg	

(1a当たり使用量)

育 苗……種をまく時期は4月下旬から8月上旬で3号ポットに3粒を1cm位の深さにまきます。
間引きは本葉1～2枚のころに一本立ちにして、本葉3～4枚の苗に育てます。



●カボチャ

畑の準備……有機質に富む中性の土壌を好むので、苦土石灰（10kg/a）、堆肥（100kg/a）を定植の2週間前までに施しておきましょう。

元 肥……	ジシアン有機化成 S 806号	12kg	定植前
	BMようりん	2kg	

(1a当たり使用量)

播 種……箱まきなら、本葉1枚のときポリポットにあげましょう。
(種まき) 4月以降ならポリポットに1粒まきとします。
定植本数の目安：80本/a



●ゴボウ

耕土が深く肥沃な土壌が最適です。黒土のようなやわらかく水はけのよい土質が適しています。
ネコブセンチュウの被害が出やすいので、4～5年は同一ほ場での連作は避けましょう。

畑の準備……酸性土壌を嫌うので苦土石灰（10kg/a）と堆肥（100kg/a）を入れて、できるだけ深く80cmくらいまで耕しておきましょう。下層が固い畑では、種まきの1か月以上にトレンチャーでまき溝を深耕し、種まきまでに土を落ち着かせておきましょう。

元 肥……元肥をすき込み、土を細かく砕きうねを作っておきます。ただし、全面すき込みでは、根の枝分かれの原因となることがあります。うねの芯への割り肥がよいので施肥時には注意しましょう。

ジシアン有機化成 S 806号	10kg	播種前
-----------------	------	-----

(1a当たり使用量)

播 種……種子は皮が硬いので一昼夜水に浸しておき、吸水させておきましょう。
(種まき) 好光性なのでやっと隠れる程度に覆土するのが発芽させるコツです。
株間15cmで3～4粒の点まきにします。うねをできるだけ高く（10～30cm）するのでうね幅は100cm位が良いでしょう。播種後は、鎮圧し水はかけないようにしましょう。

お知らせ

令和7年度作物別手引き(防除編)の更新について

『令和7年度作物別手引き(防除編)』を作成しましたので、ご活用いただくようお願いいたします。
また、作物別手引きにつきましては、**冊子での作成・配付は行っておりません**ので、手引きの取得に際しては、最寄りの支店及び営農経済センター窓口にご希望の作物をお伝えください。
※ホームページにも掲載しておりますので、そちらからでも閲覧できます。(令和7年4月1日更新予定)
当JAのHP作物別手引き栽培編/防除編 (<https://ja-kanasei.or.jp/member/kumiai/saibai>)



農業

未来への農業支援……

「持続可能な農業経営」を実現するため、担い手対策と農業所得向上に取り組みます。

地域

将来へつなぐ組織基盤強化……

将来へつないでいく組織基盤の確立と組合員の協同活動を促進します。

人財

協同組合の志を高める……

協同組合活動を理解し、志を高く持つ人材育成に努めます。

※人は財産と考えて人財としています

経営

総合的経営力の向上……

持続可能な経営基盤の確立のため、総合事業を通じた経営力向上に努めます。

の中から令和7年度より始める取り組みを紹介します。

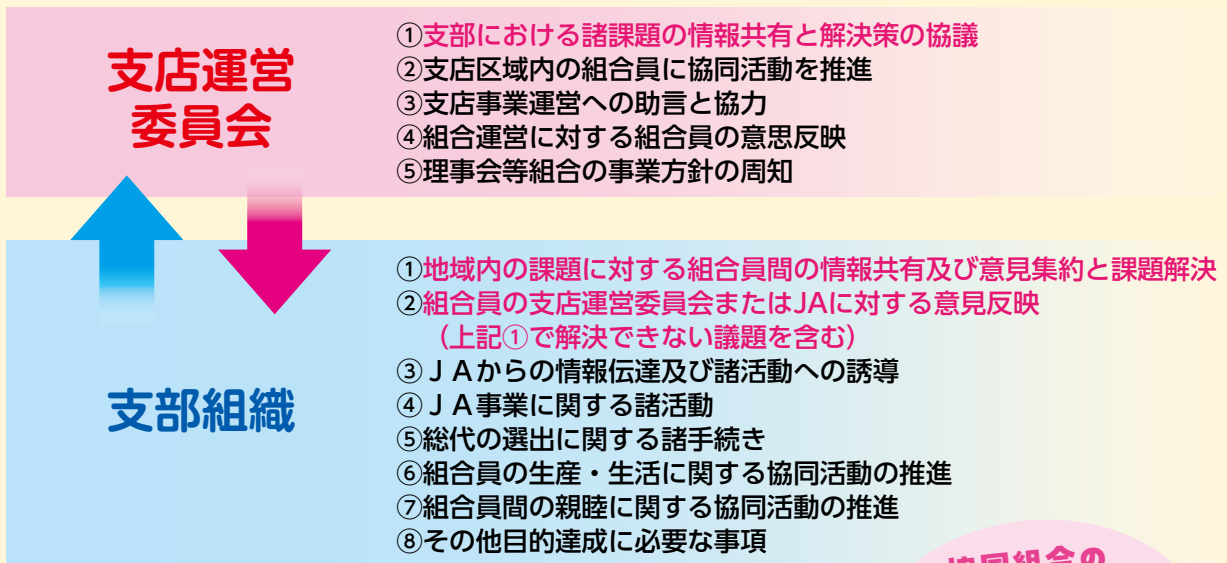
■ あなたのための支店運営委員会にします！

支店運営委員会は、組合員の意思反映・運営参画の場としてJAの組織・事業運営を支えています。しかしながら現状は、地域の困りごと等を協議できないなど意思反映の機能が十分に発揮されていない場になっていませんか？



- 支店運営委員が主体となり、地域で困っていることや支部での課題を取りまとめ、運営委員同士で共有し解決する方策を考える場にしていきます。

支店運営委員会と支部組織の関係性（イメージ図）



■ 支店運営委員会が要の協同活動を実践します！

支店運営委員会が果たすべき機能の1つに協同活動実践機能があります。このことを踏まえ、今まで以上に支店運営委員会が主体となり地域農業の課題解決に向けた協議や「農を基軸とした正組合員と准組合員が交流できる場」(支店まつりを含む)の一支店一協同活動の展開を目指していきます。

※正組合員の高齢化や減少が進み、協同活動に賛同するJAの構成員である准組合員の参加促進が必要不可欠です。准組合員との接点づくりと関係強化に向け、正・准の垣根を取り払い同じ組合員として支店運営に携わっていただくことが今後の狙いです。

協同組合の主人公は組合員の皆さまです。地元の仲間と元気な地域づくりを進めましょう。



未来志向で 協同の力を発揮しよう!

J Aでは現在、『第7次3か年計画(案)』(令和7年度から令和9年度)を策定中です。この計画は、将来(概ね10年後)のありたい姿「ビジョン」を掲げ、その実現に向け3年間かけて取り組む計画で、右の『農業』『地域』『人財』『経営』の4つのビジョンで構成。各項目の主題から1文字ずつを取り、『未来志向』をキャッチフレーズにしています。

今回の特集は、**地域**ビジョンの『将来へつなぐ組織基盤強化』

■ 支部組織(生産組合・集落単位の支部)の活動支援をUPします!

● 「支部活動費」「活動助成金」の助成支援をフル活用して下さい。

組織を維持・育成する「支部活動費」は例年通りの基準で支出します。令和6年度から創設した農業振興に関する「活動助成金」は令和7年度以降、1支部あたり年間4回まで申請を拡大します。

※詳細は前月発行(3月号)かながわ西湘NEWS欄を参照願います

● 組合員加入、各支部への部員加入を進めます。(一戸複数組合員の推進)

正組合員の高齢化等により、支部員の減少が年々進んでいます。このような状況に少しでも歯止めをかけるため、J Aでは正組合員世帯の後継者等に正組合員加入を勧めます。また、現時点で正組合員資格が無い後継者には、将来の正組合員化への備えと支部加入のきっかけづくりとして准組合員加入を勧めます。

支部員(生産組合員)減少への対応策(部員加入促進イメージ図)

①

支部員が正組合員世帯のみで、問題なく機能が発揮されている支部組織

Yes

- ① これまで通り、組織内で主体的に話し合い課題を解決します。
- ② 支部規約についても現行のものを使用します。

No

②

支部員が正組合員世帯のみだが、高齢化や後継者不足の課題があり、組織内で解決が難しいと考えられる支部組織

Yes

- ① 正組合員世帯の後継者に加入してもらい、メンバーシップ性を浸透します。
(J Aが一戸複数組合員を推進し、加入促進を支援する)
 - ・ 正組合員資格がある後継者へ正組合員加入を勧めます。
 - ・ 現時点で正組合員資格がない後継者には准組合員加入を勧め、相続時に正組合員へ資格変更していただきます。
- ② 支部規約については現行のものを使用しつつ、修正の必要が生じた場合には、J Aの規約例を参考に直すことも可能です。

No

③

支部員が正組合員世帯中心であるものの、支部存続を見据え准組合員を受け入れても良いと考えている支部組織

Yes

- ① 准組合員でも本人に加入の意思があれば加入していただきます。
- ② 支部規約については現行のものを使用しつつ、修正の必要が生じた場合には、J Aの規約例を参考に直すことも可能です。

④

参考(将来的な構想)

支部加入の意思はないものの、食や農の重要性、協同活動に一定の理解が得られる准組合員が多数存在する場合

Yes

情報伝達をすべき准組合員を組織化するために、支店もしくはエリア内で准組合員だけの支部を創設します。

※ J Aの支部規約例につきましては、各支店にお問合わせ下さい。

LINE登録で お得をゲット！

住宅ローン利用者が地産地消

J Aは住宅ローン利用者にもっとJ Aを知ってもらおうと、LINEを用いた『住宅ローンご利用ありがとうございますキャンペーン』を昨年8月から11月末まで行いました。期間中、同LINEには約1,500人が友達登録。その中から抽選で国内旅行券や管内のいちご狩り、『朝ドラファーム』の商品券などを160組にプレゼントしました。その中の一つ『いちご狩りマイカートラベルツアー』の第1弾が2月22日に行われ、管内の観光園で25組約100人が真っ赤な完熟イチゴに舌鼓を打っていました。参加者からは「こんな近くでいちご狩りが楽しめるなんてびっくり。これからもいろいろな地元産を味わっていきたい」と話しました。



完熟イチゴをほおぼる参加者

特殊詐欺にダマされない!!

山北支店で啓発セミナー開催

山北支店は2月18日、特殊詐欺から組合員を守るうと『特殊詐欺被害防止啓発セミナー』を開きました。当日は松田警察署員が、詐欺の種類や対策、心構えを説明。「特に被害が多いのはオレオレ詐欺。固定電話には迷惑電話防止機器を設置するなど対策を」と呼びかけました。詐欺の手口は巧妙化し、県下では令和6年、約65億5千万円の被害額が発生しています。支店では「J Aネットバンクを装い偽サイトに誘導するフィッシングメールが増えている。偽サイトには絶対にアクセスしないで！怪しいと思ったら支店へ相談を！」と注意喚起しています。



松田警察署員から熱心に話を聞く参加者

子どもの成長を願って

箱根支店が地域の行事に協力

箱根支店は2月22日、仙石原地区の『ざっこの会』が主催した『天神講』に協力し、地元の小学生を対象にシイタケの菌打ち体験を行いました。同会は子ども向けに様々なイベントを企画。中でも『天神講』は、学問の神様である『菅原道真』のような立派な人になれるよう、子どもたちが学び成長するイベントを開催しています。

当日は、同会のメンバーが「強くたたくと菌が死んでしまうので、やさしく菌打ちをしてください」と説明。子どもたちは大人の協力で植菌を体験しました。参加した子どもは「シイタケは嫌いだったけど、自分で菌を打ったら収穫が楽しみなった」と笑顔を見せていました。



菌打ちを体験する子どもたち

夢の直売所がオープン

〜報徳支店の「marché ほうとく」誕生〜

待ちに待った直売所が完成!! 2月26日に報徳支店に『marché ほうとく』がオープンしました。JAの直売所としては17店舗目。当日は、運営委員会などの組織や部会加入者14人がキャベツやダイコン、お米や花など10種類以上を出荷しました。管内の堀之内地区から買い物に訪れた女性は「学校に花を飾るボランティアをしています。直売所で買った季節の花を子供たちに楽しんでもらいたい」と話していました。『marché ほうとく』の鶴井豊会長は「地元の人のためにもお得感のあるマルシェを長く続けられるよう生産者みんなで頑張っていきたい」と意欲を語りました。

※この活動はJA共済の支援を受けています。



毎週水曜日営業
8:30~14:30

地場産がいっぱいそろっています

『marché ほうとく』のメンバー



減塩料理で健康と長寿に

〜助け合い組織すみれ会が料理講習会〜



助け合い組織すみれ会は2月5日に小田原市の川東タウンセンターマロニエで減塩料理講習会を開きました。会員ら15人が参加し、豆乳の台湾スープなど6品を手際よく仕上げました。関田雅代会長は「学んだレシピをたくさんの人に広めて健康維持につなげてほしい」と期待を込めています。今回は厚生労働省の食塩摂取目標を踏まえて一食6品で3g以内に抑えるメニューを選びました。会員からは「かつお節や桜エビのうま味がしっかりと感じられておいしく食べられた。友達にも教えてあげたい」と話しています。

朝ドレッシングにニューフェイス

〜黒酢ベースの『下中たまねぎ』味〜

朝ドレファ〜ミトで『下中たまねぎ』を使った『下中たまねぎ朝ドレッシング』が発売されました。昨年の4月にリニューアルした『朝ドレッシング』の第3弾で、先に開発した『湘南ゴールド』『小田原の梅』と違う味わいで楽しめるよう、タマネギと相性の良い黒酢をベースに選び、細かく刻んだタマネギと合わせました。『下中たまねぎの甘みと黒酢のコクがマッチしておいしい』と人気です。黒柳勇店長は「3品それぞれベースが違うので、ぜひ朝ドレで購入した農産物とともに味わって欲しい」とPRしています。朝ドレファ〜ミトのほか、県内のJA直売所でも販売しています。



新発売の『下中たまねぎ朝ドレッシング』

インフォメーション

JAの健診

年に1度は体のチェックをしませんか

令和7年度 送迎付き団体日帰り人間ドック（4月から9月計画分）

支店名	健診日	支店名	健診日
足柄	令和7年 7月23日（水）	大井	令和7年 6月 6日（金）
報徳	令和7年 8月28日（木）		令和7年 6月12日（木）
成田	令和7年 6月25日（水）	山北	令和7年 7月18日（金）
下府中	令和7年 7月 7日（月）		令和7年 9月 1日（月）
酒匂		清水	令和7年 7月 9日（水）
曾我の里	令和7年 8月12日（火）		令和7年 8月 8日（金）
下中	令和7年 8月22日（金）	南足柄	令和7年 6月 2日（月）
片浦	令和7年 6月23日（月）		令和7年 7月 4日（金）
	令和7年 8月18日（月）	岡本	令和7年 7月 2日（水）
大窪・早川（城南）	令和7年 7月16日（水）		令和7年 8月 6日（水）
国府津	令和7年 7月14日（月）	福沢	令和7年 6月11日（水）
湯河原	令和7年 6月 9日（月）		令和7年 9月 5日（金）
湯河原中央		開成	令和7年 6月13日（金）
真鶴駅前			令和7年 6月18日（水）
			令和7年 7月25日（金）

※健診場所は、健康管理センターあつぎです。厚木市酒井3132 ☎046(229)3731

送迎付き子宮・乳がん検診実施予定（4月から9月計画分）

支店名	検診日時
山北	令和7年8月4日（月） 14：00～
清水	
福沢	

※検診場所は、健康管理センターあつぎです。厚木市酒井3132 ☎046(229)3731

※10月からの
令和7年度計画分については
8月号で掲載します

詳しくは、各支店まで
お問合せください

農林水産省補助事業等に

『みどりチェック』が義務化されます

農林水産省は令和6年度から8年度までの試行を経て、令和9年度よりすべて補助金等の交付を受けるには『環境負荷低減のクロスコンプライアンス（みどりチェック）』の取り組みを義務化することとしています。

どうして農林水産業で環境負荷低減に取り組まなければならないの？



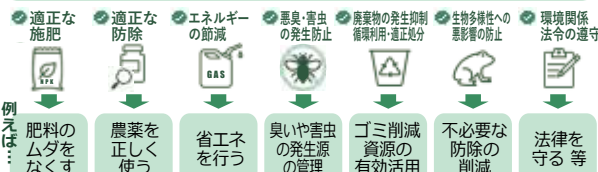
農林水産業は環境の影響を受けやすいことに加え、農林水産業自体が環境に負荷を与えている側面もあります。

このため、日頃の事業活動の中で新たな環境への負荷が生じないように、7つの基本的な取り組みを実践することが重要です。

「みどりチェック」に取り組むことで、皆さまが日頃から環境にやさしい取り組みを実践されていることを明らかにし、消費者の理解と評価を深めることにもつながります。

「みどりチェック」は誰もが取り組める環境負荷低減への「初めの一歩」です。

「みどりチェック」の7つの基本的な取り組みとポイント



詳しくは農林水産省大臣官房
みどりの食料システム戦略グループ
電話（直通）03(6744)1865



JA飲料キャンペーン

JA飲料が期間限定価格で販売！

令和7年4月1日（火）～10月31日（金）

◎湘南ゴールドスカッシュ	◎梅の風	◎みかん畑	◎湘南ゴールド	◎足柄茶	◎ほうじ茶	◎箱根山麓紅茶
290ml×24本 3,000円（税込）	290g×24本 2,500円（税込）	195g×30本 3,500円（税込）	290g×24本 3,000円（税込）	290g×24本 2,800円（税込） 490g×24本 3,000円（税込）	465g×24本 3,000円（税込）	490g×24本 3,000円（税込）

支店及び各営農経済センター等でお買い求めください

決算・棚卸に伴う各営農経済センター及び開成グリーンセンターの営業について

お問合わせは各営農経済センターまたは経済部購買課 ☎ 0465(47)0030 まで

※中井・山北支店経済窓口も含みます

令和7年 3月31日（月）
営業時間 8：40～12：00まで
令和7年 4月 1日（火）
営業時間 13：00～16：00まで

JAかながわ西湘

JAかながわ西湘は2025年国際協同組合年（またはIYC2025）に賛同しています

国際協同組合年
2025
協同組合はよりよい世界を築きます



JAかながわ西湘

本店 〒250-0874 神奈川県小田原市鴨宮627番地
TEL:0465(47)8125

●かながわ西湘 4月号 (vol.223) 令和7年3月20日 (毎月20日発行)
●発行/かながわ西湘農業協同組合 ●発行責任者/宇留間優
●編集/組織企画部組織広報課

JAかながわ西湘ホームページ▶ <https://ja-kanasei.or.jp/> かながわ西湘

